

🌸 ひなまつり 🍡

ひな祭りとは、女の子のすこやかな成長と健康を願う、3月3日の「桃の節句」の行事です。

なぜ3月3日？

そもそも古代中国の陰陽道では、1・3・5・7・9の奇数が重なる日に、お供えやお祓いをする風習があったのです。3月3日の上巳、5月5日の端午、7月7日の七夕などがそれです。日本では、平安時代に年中行事になり、江戸時代には少し変化して「五節句」という幕府公式の祝祭日になりました。

節句にはもともと男女の区別はないのですが、菖蒲を「尚武」にかけける端午の節句に対し、上巳の節句は優雅な女の子のお祭りとして楽しまれるようになりました。

節句とは別に、日本の公家には「ひいな(ひな)遊び」という幼い女の子の遊びがありました。

この言葉は源氏物語などにも出てきており、要するに人形を使ったおままごとです。

江戸時代には公家の女性が、権勢を誇る武家にお嫁に行くことがしばしばあり、嫁入り道具としてひな人形が武家社会に持ち込まれました。

公家風のみやびな香りを漂わせるひいな遊びは、武家や裕福な町人の間で流行し、だんだんと上巳の節句と結びついて、ひな人形を楽しむ習慣が生まれたようです。

旧暦の3月3日といえば、現在の3月上旬から4月中旬にあたります。ちょうど桃の花が咲く春らんまんの季節なので、上巳の節句は桃の節句とも呼ばれています。

桃の木は、中国では病魔や厄災をよせつけない不老長寿の仙木とされ、節分にも桃の木の弓で鬼を追い払う儀式があったほど。桃はとても縁起のいい植物なのです。



ひな祭りに用意する食べ物

はまぐりのお吸い物: はまぐりの貝殻はもともと対だったものだけがぴったり合い、貝合わせなどの遊びに使われたことから、一生添い遂げる仲のいい夫婦にちなんでいます。

ひし餅: 植物の菱(ひし)は水面に広がって繁ることから、ひし形は成長や繁栄のシンボルとして古くから親しまれてきました。ひし餅には、女の子の健やかな成長と豊かな人生への願いが託されています。

ひなあられ: ひし餅を外でも食べやすくするために砕いて焼いたのがひなあられの発祥とも言われています。

ちらし寿司: かつてお祝い事に提供されていた『なれ寿司』が、だんだん『ばら寿司』へと変化していき、彩りの良いちらし寿司が好まれるようになったようです。

えび…腰が曲がるまで長生きできるように

れんこん…遠くまで見通せるように

豆…健康でマメに働けるように

色とりどりの具材にはこんな願いが込められています。

